

衆議院法務委員会ニュース

平成 22.3.30 第 174 回国会第 6 号

3 月 30 日（火）第 6 回の委員会が開かれました。

1 国際受刑者移送法の一部を改正する法律案（内閣提出第 33 号）

- ・千葉法務大臣、中井国務大臣（国家公安委員会委員長）、吉良外務大臣政務官に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 民主、自民、公明、国守）

（質疑者及び主な質疑内容）

山 尾 志桜里君（民主）

- ・「刑を言い渡された者の移送に関する条約」の規定により同条約の内容を受刑者に通知することが義務付けられているが、その時期、手法及び言語保障に関する取決めがあるか否かについて伺いたい。
- ・日・タイ受刑者移送条約において、受刑者に同条約の内容を通知することが努力義務となった理由について伺いたい。
- ・外国において日本人受刑者が条約内容についてどのような通知を受けているかを調査し、必要に応じて相手国に改善を申し入れるべきであると考え、外務大臣政務官の所見を伺いたい。

坂 口 岳 洋君（民主）

- ・選択的夫婦別氏制度の導入等の民法改正に関して、戦後から現在までの家族法の主な改正内容、平成 18 年 12 月に内閣府が行った世論調査の結果、非嫡出子の法定相続分について定めた民法第 900 条第 4 号の趣旨について、法務大臣に伺いたい。
- ・現在、来日外国人受刑者のうち国籍別で最も多いのは中国であるが、中国との間で受刑者移送条約を締結する予定はあるのか。

福 井 照君（自民）

- ・平成 20 年 1 月に発生した中国製冷凍ギョーザ中毒事件について、これまでの事実関係を伺いたい。また、被害者感情に配慮して、犯人を我が国で裁いてもらいたいと思うが、国家公安委員会委員長の所見を伺いたい。
- ・中井国家公安委員会委員長が S P を連れずに街中を出歩いていたと週刊誌で報じられたことについて、事実関係の総括を国家公安委員会委員長に伺いたい。
- ・受刑者移送法について、移送決定時における法務大臣の

相当性判断の基準はどのようなものなのか。中国、ブラジル及びイランとの条約締結に向けた外交交渉の状況について、法務大臣に伺いたい。

- ・受刑者の更生には社会の受入れが必要であると思うが、法務大臣はどのような観点に立って法務行政を率いているのか。

神 崎 武 法君（公明）

- ・日・タイ受刑者移送条約では、移送の要件として最低服役期間の定めがあり、タイは国内法で最低服役期間を定めているが、我が国の受刑者移送法ではそれが定められていないのはなぜか。
- ・海外で受刑している日本人について受入移送の要請があり、同一事件について我が国が独自に刑の執行をしたいと考える場合、取り得る手段としてはどのようなものがあるのか。
- ・裁判国の判決手続の適正さに不備がある場合、それを理由として、受入移送手続の有効性を我が国の裁判所で争うことができるのか。
- ・送付移送を希望したが認められなかった場合、我が国の裁判所で争うことができるのか。